

アジア新興国の失業率とインフレ率

イーストスプリング・アジア・ナウ

Vol.59

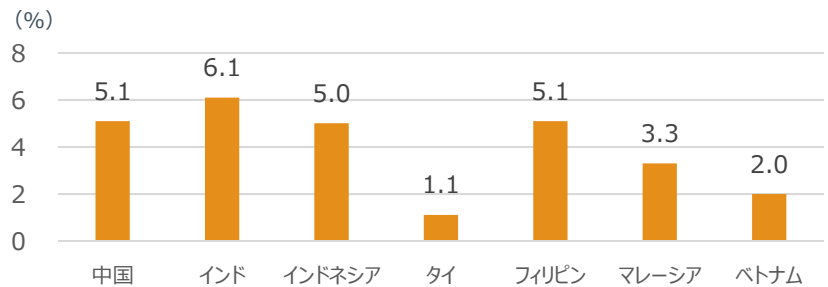
eastspring
investments

失業率は低下傾向ながらもまちまち。インフレ率は安定し、金融緩和傾向

タイの失業率は長期にわたり低位で推移

- ▶ タイでは、高い農業部門の就業率に加え、他国より急速な少子高齢化が進んだことなどが低失業率の要因とされています。ただし、低失業率にも関わらず、消費者物価指数（CPI）上昇率が抑えられているのは、最低賃金の上昇が緩やかであったことなどが挙げられています。
- ▶ 域内全体として失業率は低下傾向にあり、各国とも就業者数増加による消費の拡大が予想されています。

アジア新興国の失業率*



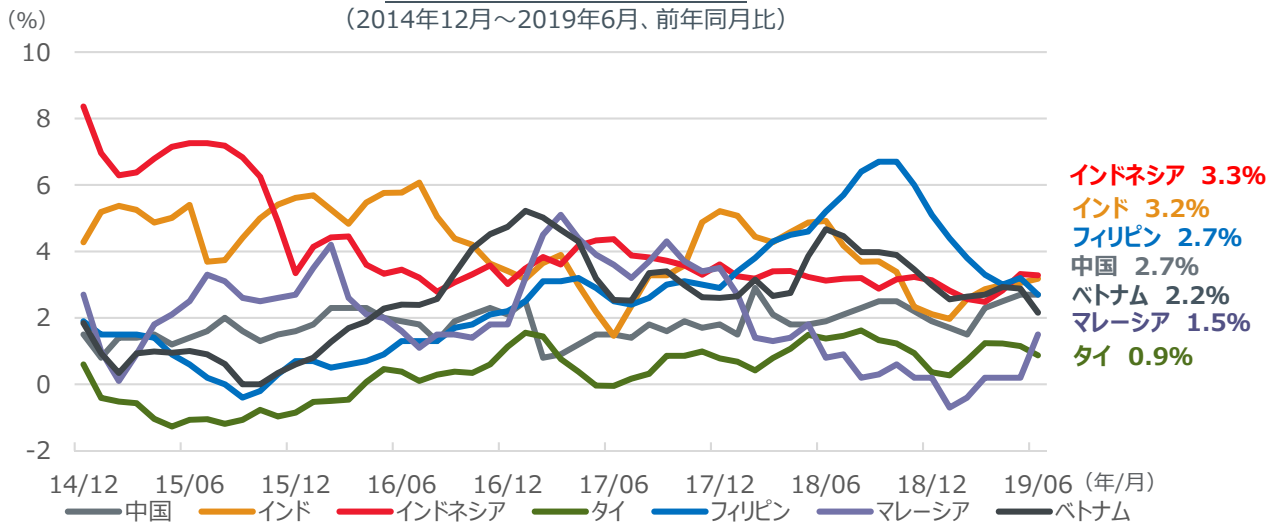
出所：Bloomberg L.P.、中国国家统计局、インド国家统计局のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。*各国とも発表されている直近値。中国は都市部失業率2019年5月、インドは2018年3月、インドネシアは2019年2月、タイ・フィリピン・マレーシアは2019年6月、ベトナムは2018年6月。

インフレ率は低水準、更なる金融緩和余地

- ▶ アジア新興国のインフレ率は低水準にあり、フィリピンを除き2017年以降は概ね各国の目標水準内で安定しています。フィリピンのCPI上昇率は、2018年通年で前年比+5.2%でしたが、政策金利の引き上げや、輸入の数量制限を撤廃する改正農業関税化法の施行等により2019年に入り、低下傾向にあります。各国とも2019年は、政策金利を引き下げるなど、金融緩和傾向にあり、景気の回復が期待されます。

アジア新興国のCPI上昇率

(2014年12月～2019年6月、前年同月比)



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。※また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。※また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号 / 加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャルグループ

190801 (01)